

会議録

会議の名称	平成 25 年度第 1 回茨木市環境審議会地球温暖化対策推進部会	
開催日時	平成 25 年 11 月 28 日 (木) (午前・午後) 10 時 00 分 開会 (午前・午後) 11 時 45 分 閉会	
開催場所	市役所南館 3 階 会議室	
議長	三輪 信哉 (大阪学院大学 国際学部国際学科 教授)	
出席者	玉井 昌宏、箱田 正輝、三輪 信哉 【3人】	
欠席者	村瀬 径介 【1人】	
事務局職員	松本環境政策課長、谷口新エネルギー推進係長、細井職員 【3人】	
開催形態	公開	
議題 (案件)	(1)平成 25 年度の取り組みについて • 指標設定及び進行管理の考え方について (2)その他	
配布資料	• 平成 25 年度の取り組みについて 資料 1 • 指標設定および進行管理の考え方について 資料 2 • 地球温暖化対策実行計画 参考資料 1 • 地球温暖化対策実行計画概要版 参考資料 2 • いばらきエコプラットホーム 参考資料 3 • エコグランプリいばらき参加者募集ちらし 参考資料 4	

議事の経過	
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
部会長	<p><開会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局出席者紹介 ・委員紹介 ・部会長に三輪委員を満場一致で選出 <p>選任いただいたのでご協力をよろしくお願いしたい。 少ない人数の部会であるので、率直に発言いただき、活発に意見をいただきながら進めていきたいと思う。地球温暖化を巡っては先般、COP19 が終わり、日本としても新たな姿勢も見せている。 また、色々な意見があるが積極的に取り組み、さすが茨木市と言われるようお知恵を拝借できればと思う。</p> <p><会議及び会議録の公開について></p> <p>事務局より説明</p>
部会長	<p>本部会は公開とし、会議録については要約したものを情報ルーム等に設置すると共にホームページに掲載することとする。</p> <p>1 議題</p> <p>(1) 平成 25 年度の取り組み、指標設定及び進行管理の考え方について事務局から説明</p>
部会長	<p>お気づきの点、ご意見があればお願いする。まず、資料 1 についてはどうか。</p>
A 委員	<p>プラットホームとこの部会との関係はどのようにになっているのか。</p>
事務局	<p>地球温暖化対策実行計画の 57 ページに計画の推進イメージ図を掲載している。この図の推進委員会がこの部会というイメージである。今年度は、それぞれの立ち上げを行ったところであり、この部会からもプラットホームにご参加いただいている委員もおられるので、プラットホームの状況を報告する中で助言をいただければと思う。</p>
A 委員	<p>地球温暖化対策実行計画策定の議論当初、プラットホームが活動部隊というイメージだったのではないか。</p>
事務局	<p>今年度は推進体制づくりということで、市と関わりのある団体等に声を</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>かけて、情報や意見交換ができる場としてプラットホームを立ち上げたところである。この部会も今年8月に設置し、進行管理の仕組みなどを検討することとしている。</p> <p>プラットホームでは市民団体や事業者と連携しながら計画推進につながる取り組みを行っていきたいと考えている。</p>
部会長	<p>後ほど事務局から報告予定であったプラットホームについて、先に説明をしてもらった方が良いようなので、説明をお願いしたい。</p>
事務局	参考資料3に基づき説明
A委員	<p>プラットホームの位置づけについて、「実行するためのもの」と記載され、目的が「活動を生み出していく」と記載されているが、実行をしていくのか施策を考える場なのか。また、そのプラットホームの活動についてもこの部会で評価するのかしないのか。その点があいまいである。</p>
事務局	<p>この部会は、プラットホームの活動に対して専門的な見地から助言いただく場として考えている。今後、プラットホームの活動が出てきたら指標として追加設定を考えていきたい。</p>
A委員	<p>活動指標だけでは、計画を推進する取り組みが全て把握できないので、成果指標としてあがる「エネルギー使用量」等についてあまり成果が反映されていないという議論が想像できる。</p> <p>プラットホームで活動していただいた結果、エネルギーが削減された、貢献された、ということがあっても、今の枠組みでは要因や関係性が分からぬ状況である。プラットホームの活動も、活動指標として捉え、市民の活動が良い方向に影響しているということを示せる方が良いと思う。</p>
事務局	<p>評価方法について、市民の活動を指標化するのは難しいが、プラットホームで活動が生まれた場合、その活動は市で把握が可能である。羅列になってしまふかもしれないが評価に反映させることはできると考えている。</p>
A委員	プラットホームの取り組みは期待されていると思うので、クローズアップするような仕組みが良いかと思う。
B委員	現時点では、事業者がプラットホームにどのように参加されているのか。また、プラットホームではどのような活動をメインにされているのか。

議事の経過	
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
事務局	<p>プラットホームの展開イメージとしては、今年度は省エネコンテストを実施する中で、関係づくりを行っていきたい。民間同士の方がプラットホームで知り合うことで何か新しい活動が生まれてくるということもイメージしており、活動の輪を広げていきたいと考えている。</p>
部会長	<p>プラットホームは立ち上がったところなので、今後どういった活動が出てくるのか、非常に期待されている場もある。</p> <p>プラットホームの評価についてもこの部会で行うのか、それとも単にアドバイスをしていくのか、ということについては今後も議論を進めていければと思う。</p> <p>次に、資料2の指標設定および進行管理の考え方についてご意見はあるか。</p>
A委員	<p>資料2の1ページの①が目標値への進捗指標、②が評価指標となっているが、このように分けられている理由はあるのか。目標値は決まっているのか。</p>
事務局	<p>計画の中で、市民1人あたりの二酸化炭素排出量を削減目標として定めており、目標値への達成度を図るため、進捗指標を設定している。</p> <p>その指標だけを見ても要因分析等は分からないので、市民の行動が反映される部門別のエネルギー消費量を評価指標として設定し、部門別の対策等を検討できればと思っている。</p>
A委員	<p>地球温暖化対策実行計画策定の議論の中で、産業部門は対策しづらく、家庭部門の対策を進めてはどうかという議論があった。</p> <p>活動の評価を行うときに、産業部門に対する活動がなかなかないという状況になり、ほとんどは家庭部門に対する活動になってくる。今後プラットホームの取り組みから、事業者の活動も出てくる可能性があるが、原案の活動指標は家庭部門の取り組みが主である。</p> <p>集計をする上では、部門別が出てくるので、部門別も目標値として持つておいた方が良いのではないかと思う。</p> <p>例えば、大きなプロジェクトが出てきた場合、目標値はあまり削減できていないが、部門別にみると削減している、というような例もあるのではないか。その際にどのように評価をしていくのかは課題である。</p>
事務局	<p>地球温暖化対策実行計画の34、35ページには、正式な目標ではないが、各部門別の目標達成のための目安を記載している。</p>

議事の経過	
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
部会長	目標値への進捗指標として市民1人あたりの二酸化炭素排出量があり、評価指標として市民1人あたりのエネルギー消費量がある。区別されている理由は何か。
事務局	地球温暖化対策実行計画の目標は、市民1人あたりの二酸化炭素排出量で設定しているため目標値の進捗指標としている。市民・事業者の取り組みは、エネルギー消費量や部門別排出量の方が反映されやすいことから評価指標に設定している。
部会長	<p>市民1人あたりの排出量は、総人口で割るので産業活動が増えると大きくなってしまい、誰がどう寄与しているのか分からなくなってしまう。</p> <p>原案は、部門別排出量の経年変化は追うが、目標に向けてどう進捗しているのかということは評価しないということになるのか。</p>
事務局	<p>原案は、前年度と経年変化で評価をしていくということになっている。評価の仕方については、例えば先ほどの目標の目安に近づいているかどうかという評価の仕方もあるのでその点についてもご議論いただければと思う。</p>
A委員	<p>排出係数や産業部門の製造活動の実態で排出量は大きく変動する。地球温暖化対策実行計画策定の際も、二酸化炭素排出量かエネルギー消費量か、どちらで進捗評価するのかということも議論があった。</p> <p>目標値への進捗を評価する場合に、いろいろな要因により排出量が大きく変動する場合もあるので、ここは増えているが、これだけやっているという評価を行うためにも部門別やエネルギー消費量なども評価できるようにしておいた方が良いと思う。</p>
事務局	資料2の2ページで示しているように、全体の指標例として、市民1人あたりのエネルギー消費量については、全体および部門別に評価してはどうかと考えている。
部会長	産業界はエネルギーを使いたい。オフセットで解決しているというような例は、反映されるのだろうか。
事務局	<p>今後はそのような話も考えられるかと思う。</p> <p>部門別の総排出量だけでなく、部門別の固有単位あたりの排出量の動きを見ていくべきだと思っている。例えば、事業活動が増えたので総量が増え</p>

議事の経過	
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
	たということだけでなく、総量は増えていても、高効率化は進んでいるというような状況を見ていければと考えている。
A委員	細かいデータはあるという認識で良いか。
事務局	はい。ただし、産業部門や民生業務部門の電気・ガス以外のエネルギー消費量は国や大阪府のデータの按分算出となるので評価の際は留意が必要である。
B委員	我が社では、毎月一次エネルギー消費量で店舗報告をしていて、改善をしている。
部会長	そのようなデータを活用してはどうか。
事務局	国の方では全国の事業所の3割程度をカバーしているが、公表が遅れている状態である。
部会長	公表が遅れている原因は集計やチェックだろうか。市で直接データを出していただき活用してはどうか。
事務局	市が直接収集するのは難しいが、国等のデータが公表される時期の関係で全体指標の把握が遅れ、実際の取り組みが直接反映されない。例えば太陽光発電システムを導入していれば、その住宅も低炭素化されているだろうというような象徴するような指標があればと思う。
部会長	あとは、そのような指標があるかどうか、ご意見を反映し、事務局で検討いただければと思う。
A委員	市民の方が活動をされて、その結果が反映されているというような指標があるとうまく活動もまわっていくのではないかと思う。 ここで議論しているものは、全体削減目標に反映されると小さいものが多い。総合交通戦略等で取り組まれようとしている施策の方が、効果が大きいという可能性もある。なるべく、市の色々な施策で、CO ₂ 削減に資するものがあれば取り込んで、そのことについても意識しながら経年的な評価を見ていった方が良いのではないかと思う。
事務局	二酸化炭素削減に資する施策の活動実績はあげていきたい。原案も他の

議事の経過	
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
A委員	<p>部署でやっているもので、数字が出やすいものをを集めているが、取り組み効果が大きいものや評価できるものがあれば追加していく。</p> <p>例えば、小中学校で電気料金が減らせたら、その分の報奨金を渡すなどの仕組みをつくる施策があると、排出量も減っていく可能性もある。なるべくそのような取り組みの事例を集めて、進捗評価の際に、あわせて議論できると良い。</p>
事務局	<p>事業者を対象に省エネ設備等の導入補助を行っているが、予算の範囲であり、制度変更なども考えられるため指標には入れていない。ただし、事業実績については把握して、毎年指標の経年変化とともに提示して総合的に評価していただければと思っている。</p> <p>イメージが伝わりづらいと思うので、次回の部会の際は、今回のご意見も踏まえて、進行管理を試行してみたらどのような結果となるのか、分かりやすい形で示したいと考えている。</p> <p>今回、提示している指標は5年くらいで経年変化を把握できるものとして列記している。</p> <p>指標を入れ替えすぎても進捗評価が分かりづらくなる。他市の事例で、ある時期モニター指標や関連指標で思いつくものあげて、收拾がつかなくなってしまった事例もある。ご意見の意図は共有しているかと思うので、次回資料を出しながらどのように進行管理をしていくのかという議論ができればと思う。</p>
部会長	<p>ここで議論した指標は2020年まで必ず使うものか。それともゆるやかに運用するのか。他部局との調整はどうしていくのか。他市では、定性的であるが各施策が二酸化炭素排出の増減にどのような影響があるのかということも一覧にしている。</p>
事務局	<p>活動指標を設定しているまちの姿ごとの施策について、各部局に照会をかけ、実績把握に努めている。</p>
部会長	<p>他はいかがか。進行管理の際は数値列挙した報告書が出てくるのか。トピック的なことをどのように掲載していくのか、報告書のイメージが大事になってくると思う。</p>
事務局	<p>次回までに試行した資料を示せたらと考えている。</p>

議事の経過	
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
A委員	道路交通センサスは何年のデータが最新か。
事務局	2010年が最新である。
A委員	指標が中心部の歩行者と自転車通行量のみであるが、それだけしか出てこないのか。
事務局	これらの指標については、現在、茨木市の総合交通戦略の策定が行われており、そこで検討されている指標をあげているが、今後設定される指標との整合も図っていく。一般の道路交通センサスのデータも必要に応じ考えていく。
A委員	歩行者、自転車だけでなく、自動車についても把握できるのであれば把握してはどうか。
事務局	公共交通と歩行者に注目しようという趣旨である。
部会長	これでは、公共交通と歩行者が増えた以上に自動車交通量が増えた場合は分からぬ。他はいかがでしょうか。本日は色々な角度でご意見をいただいた。次回は2月になるのか。
事務局	2月前に案を委員に送付し、追加で意見をいただければと思う。
部会長	今回いただいたご意見を事務局として検討していただければと思う。進行管理スケジュールについてはどうか。部会の環境審議会やプラットホームとの関係はどのようになるのか。
事務局	事務局の方で再度検討し、お示ししたいと思う。
	(2) その他
	省エネコンテストについて事務局より説明・報告
部会長	では本日はこれで終了する。ありがとうございました。
	以上